

50年ぶりの飯豊中学校同級会

私たちの中学の同級生は、昭和20年4月飯豊村国民学校初等科第1学年として入学しました。当時は第2次世界大戦中、そして8月15日には終戦を迎えた年です。

私たちは、昭和29年3月まで（小学校・中学校まで）9年間、苦業を共に学校生活を送った友です。昭和29年の中学校卒業生は、「飯豊中学校」と「小戸神中学校」が併合し、第1号の卒業生です。昭和28年秋だと思いますが、卒業する数カ月前に田尻に新校舎（現在廃校）が完成し、飯豊、小戸神中学校のわずか数カ月の仲間です。

中学卒業と同時に私たちは、農家の後継、進学、就職とそれぞれの進路を求め、ばらばらになつてしまい、その後の消息もわからず、再会の機会が一度もないまま年が過ぎてしまいました。

今から8年前の話になりますが、同級会開催のため名簿作成

に挑戦したところ、地元の人たちの絶大なる支援の下、何とか98人の消息をつかむことができました。名簿完成を機に、平成15年秋に42人の参加を得て裏磐梯ロイヤルホテルで1回目の同級会を開き、50年ぶりの再会を果たすことができました。50年ぶりの再会、これまでのご苦労がいろいろな形で顔や手に年輪として現れ、卒業写真と見比べても昔の面影がほとんど分からなくなっていました。

懇親会では、胸に名札を付けて声を掛け合ううちに、昔を思い出し、たちまち当時の中学生にタイムスリップ、再会の感激に酔い、我を忘れ、年甲斐もなく喜び、はしゃいでしまい、同級会の継続を誓い合いました。短時間でこんな深い付き合いができるのは何なのか不思議です。

来年5回目の同級会が開催される予定です。私たちの同級会では、これまでの人生模様を文

集にまとめることとなり、飯豊中29年卒文集ができ上がりました。一部を紹介すると「何より健康であることに感謝」、「一生同級生には会えないのではないか」、「趣味を生かして楽しんできます」、「生きてきた中で今が一番いい時」、「子ども4人孫11人の大家族に囲まれ幸せ」、などなど幸せいっぱい文集になりました。この幸せの陰には、苦労がたくさん潜んでいることが想像できます。ふるさとに帰ってクラスメイトに会えるのが一番楽しい。



先崎 稔
(飯豊出身／東京支部)